



愛知県 いしかわ製茶

『有機栽培を活かした小規模生産者による輸出』

【主な品目】

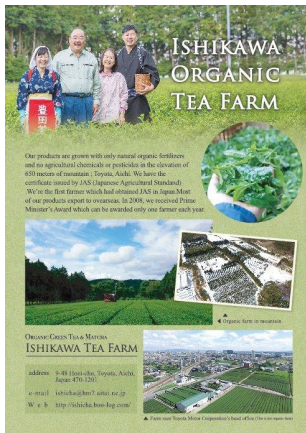
茶（煎茶、抹茶、てん茶）

【主な輸出先国・地域】

ドイツ、イギリス、アメリカ、カナダ等

【輸出取組の概要】

- ◆ 昭和53年から高冷地で栽培を開始。現在は、寒さを逆手に取った病害虫対策や耐寒性品種の導入により、茶の有機栽培を実現。
- ◆ 海外での日本食・抹茶の知名度の高止まりと世界的なオーガニック商品需要の拡大を好機と捉え、平成25年より輸出を開始。
- ◆ 令和5年にはシンガポールのミシュラン星付きレストランに採用。



奥様の咲姫さんが英訳し、デザインした海外向け有機茶紹介パンフレット



海外の取引先からはいしかわ製茶の小さな家族経営が評価されている

【輸出実績(直接輸出分)】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	7,220	通年
令和4年度	5,300	

【取り組む際に生じた課題】

- ・京都・静岡といった有名産地に挟まれ、国内では、圃場の立地している豊田市＝工業地帯のマイナスイメージから販売が停滞。
- ・オーガニック製品への需要が高まるニュージーランドへの販路開拓に苦戦。

【生じた課題への対応】

- ・海外に赴いての積極的なPRやSNSの活用により販路を開拓。PRにあたっては信頼性・安心感、品質技術の象徴として海外で認知されている“世界のトヨタ”の知名度を活用。
- ・ニュージーランドへの販路開拓を目指して、在外公館とのオンライン会議を実施し、現地の情報収集を実施。

【対応の結果】

- ・輸出実績を着実に伸ばし、現在では生産量の約8割(3.2t)を輸出。輸出量のうち0.8tは直接輸出。
- ・ニュージーランドへの茶の輸出に向けた取組を始動。

【今後の展望】

- ・少量でも高品質を求める、品質本位の茶専門店・有機食品専門店への販路開拓を志向。
- ・国内では主に加工品原料として和菓子・洋菓子店やレストラン向けに販売しているが、海外向けにも加工品原料としての輸出機会を模索。